

平成26年度第3回野菜需給・価格情報委員会の意見概要

1 日時

平成27年3月16日（月）13:30～15:30

2 場所

独立行政法人農畜産業振興機構 南館1階会議室

3 概要

「平成26年産秋冬野菜の需給・価格の実績」（資料2）の説明の後、春野菜の需給・価格の見通しについて、3月6日開催の消費分科会で出された意見等を踏まえ意見交換。その概要を藤島座長が取りまとめ、各委員に了承を得た上で、3月20日開催の平成26年度第3回野菜需給協議会に報告することとなった。

春野菜の需給・価格の見通しに関する各委員からの意見は以下のとおり。

(1) 春キャベツ（4～6月）

① 供給見通し

- 作付面積は、前年並みの見込み。神奈川は微増。
- 生育状況は、千葉は概ね順調であるが、2月下旬の降雨や気温の変更幅が大きいなど、ほ場によってバラツキなどがある。神奈川は、適度な降雨により概ね順調である。愛知は、2月下旬の気温が低く生育が停滞したが、その後、天候が回復し概ね順調。
- 出荷量は、雨も多く気温も高いことから、4月に入り病害の発生の懸念はあるものの、全体的には概ね生育は順調なことから、期間を通じて前年並みの見込み。

② 需要・価格見通し

- 価格は、主産地の愛知県産や千葉県産において順調に生育することが見込まれることから、期間を通じて前年並みの見込み。
- 加工・業務用は、現在、中国産の使用は例年の半分程度であり、今後も国内産の順調な出荷が見込まれることから、本年は国内産へのシフトが見込まれる。

(2) 春だいこん（4～6月）

① 供給見通し

- 作付面積は、前年並みの見込み。長崎は微減。
- 生育状況は、千葉は、年内の降雨により、播種時期にバラツキが見られたものの、生育は順調に推移。長崎は、降雨の影響が懸念されたが、概ね生育は順調に推移。
- 出荷量は、降雨の影響により、4月下旬から5月上旬に一時、出荷の谷間ができる可能性はあるものの、千葉県産と中心に生育が順調であることから、期間を通じてほぼ前年並みの見込み。

② 需要・価格見通し

- 価格は、主産地において順調な生育が見込まれることから、期間を通じて前年並みの見込み。
- 加工・業務用は、これまでの神奈川県三浦産から茨城県産や千葉県産にシフトしていく時期であり、生育が遅れているとの情報はああるものの、業界に与える影響は小さいと考えられる。また、例年4月の相場が上向き加工メーカーにとって入手しにくい時期であるが、今年の入手は順調と見込まれる。

(3) たまねぎ (4～6月)

① 供給見通し

- 作付面積は、兵庫は前年並みの見込み、佐賀はわずかに減少、北海道はやや減少。
- 生育状況は、兵庫は、主力の中晩生が定植の遅れにより、生育もやや遅れているが、1月の降雨の心配はあるものの概ね生育は順調に推移。
- 出荷量は、4月と5月は、ほぼ前年並みと見込まれるが、6月は佐賀県産がこの時期に出荷される面積が減少したことなどから前年を下回る見込み。

② 需要・価格見通し

- 価格は、佐賀県産などで病害の影響はあるものの、概ね順調な出荷が見込まれることから前年並みの見込み。
- 加工・業務用は、中国産は、昨年の残留農薬問題や国内価格が安かったことから、27年産の作付面積は減少するという情報がある。ただし、国内産が順調に生育すれば影響は小さいと考えられる。また、円安により中国産との価格差が小さくなったこともあり、国内産へシフトする業者も増えている。

(4) 春夏にんじん (4～7月)

① 供給見通し

- 作付面積は、徳島は前年を微減、千葉はやや減少。
- 生育状況は、徳島は、年内の寒波の影響で遅れ気味。千葉は、1月下旬以降の降雨の影響で播種作業が遅れているものの、生育は順調に推移。
- 出荷量は、生育も順調なことから、期間を通じてほぼ前年並みの見込み。

② 需要・価格見通し

- 価格は、順調な出荷が見込まれることから、期間を通じて前年並みの見込み。
- 加工・業務用は、この時期の中国産の品質は良いものの、円安により価格差が小さくなったことから国内産にシフトする動きが強まっている。また、加工用の産地の開拓も進んでいる。

(5) 春はくさい (4～6月)

① 供給見通し

- 作付面積は、長野は前年並み、茨城はかなり減少。
- 生育状況は、茨城は低温の影響から生育が遅れているものの、長野については生育は順調に推移。
- 出荷量は、近年のこの時期の価格が安かった影響で作付面積が減少していること等から、4月から5月は前年を下回り、6月は長野県産の生育が順調であることから前年並みの見込み。

② 需要・価格見通し

- 価格は、4月及び5月は、入荷量が減少すると見込まれることから、前年を上回る見込み。6月は順調な出荷が見込まれることから、高かった前年を下回る見込み。
- 加工・業務用は、現在、在庫が多めの業者もいるが、それ以外の業者が市場から購入する場合には、価格変動要因となる可能性がある。

(6) 春レタス（4～5月）

① 供給見通し

- 作付面積は、茨城は前年をやや減少、長野県はやや増加、兵庫は微減。
- 生育状況は、茨城は、低温の影響で生育が遅れていたが、現在は回復して順調に推移。長野は、若干の遅れはあるものの、生育は順調に推移。兵庫は、1月から2月の多雨で、病害の発生が前年より多かったが、その後、回復して生育は順調に推移。
- 出荷量は、主産地の生育が順調であることから、期間を通じて前年並みの見込み。

② 需要・価格見通し

- 価格は、各主産地とも順調な出荷が見込まれることから、前年並みの見込み。